

「一棟 40 戸を学生寮に再生 ビレッジハウス・マネジメント 大学と初連携」

1 棟 40 戸を学生寮に再生

ビレッジハウス・マネジメント 大学と初連携

賃貸住宅「ビレッジハウス」を管理・運営するビレッジハウス・マネジメント(東京都港区)は、北海道恵庭市の物件を再生、留学生向けの学生寮として提供した。同社が一棟単位で学生向けに提供するの初の試みとなる。

物件名は「ビレッジハ



▶リノベした専有部

ウス恵み野北」。親会社であるフォートレス・インベストメント・グループ(アメリカ・ニューヨーク州)が2017年に取得した、全3棟、総戸数120戸の旧雇用促進住宅。今回は3号棟を近隣の日本医療大学に一棟で貸し出す。入居者は同大学の留学生約100人で、1室に2〜3人がル

ームシェアする予定だという。

リノベーションの内容は日本医療大学の要望をくみながら決定。ルームシェアが前提であり、部屋数を確保するために間取りは変更せず3DKとした。初めて来日する女生徒が多いことから、テレビモニターインターホンを全戸で採用。そのほか天井と床のクロスを張り替え、風呂場も一新した。母国に住む家族らと連絡を取りやすいよう、Wi-Fiを備え付けた。専有面積の広さは55・99㎡だ。

法人営業本部の牛崎聡マネージャーは「地域のニーズに合わせてリノベの準備を進めていたタイミングで大学からの問い合わせがあった。その需要に最大限応えるリノベを実施した」とコメントする。